

DOUBLE CENTRIFUGALLY CAST ROLL

Patent Number: JP57094466
Publication date: 1982-06-11
Inventor(s): YAMAUCHI HIDEKAZU; others: 02
Applicant(s): MITSUBISHI HEAVY IND LTD
Requested Patent: ☐ JP57094466
Application Number: JP19800170225 19801204
Priority Number(s):
IPC Classification: B22D19/16; B22D13/02
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To develop double rolls of high strength by setting the thickness of an outside layer material at half the thickness of an inside layer material or larger in producing the double centrifugal cast roll consisting of the inside layer material of superior machineability and the outside layer material of superior abrasion resistant.

CONSTITUTION: Double centrifugally cast rolls constituted of an inside layer material 1 made of ordinary cast iron of superior machineability and an outside layer material 2 of Ni-hard cast iron of superior abrasion resistance are used as rolls for disintegrating coal, ore, etc. In this case, the wall thickness of the material 2 is set at half that of the material 1 or larger during casting whereby the double centrifugally cast rolls of high strength are obtained.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

THIS PAGE LEFT BLANK

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57-94466

⑪ Int. Cl.³
B 26 B 21/24
21/22

識別記号

庁内整理番号
7041-3C
7041-3C

⑬ 公開 昭和57年(1982)6月10日

審査請求 有

(全 1 頁)

⑭ 安全かみそり

関市千年町2丁目5番地

⑮ 実 願 昭55-169616

⑯ 出 願 人 株式会社貝印刃物センター

⑰ 出 願 昭55(1980)11月28日

関市千年町2丁目5番地

⑱ 考 案 者 浅野多茂留

⑲ 代 理 人 弁理士 池端亨一

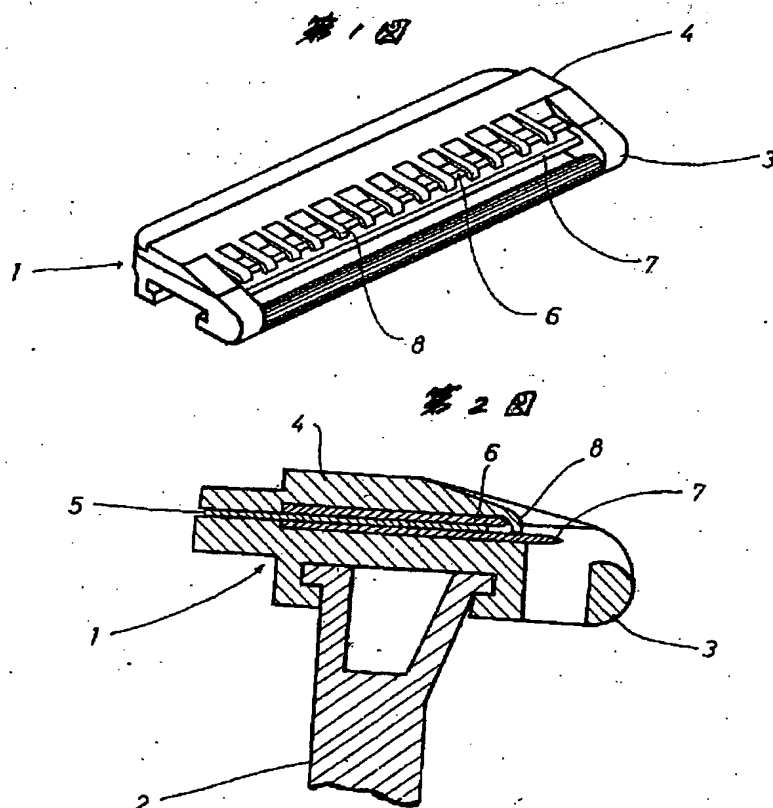
⑳ 実用新案登録請求の範囲

刃台3と天板4とより上刃体6と下刃体7を挟着し、該上刃体6と下刃体7の間にスペーサー5を介在させて成る安全かみそりにおいて、天板4の前縁から多数の凸片8を突出させることにより、上刃体6の刃縁が一定間隔おきに露出していることを特徴とするもの。

図面の簡単な説明

図面は実施例を示すものであつて、第1図は組立刃体の斜視図、第2図は安全かみそりの一部断面図である。

3……刃台、4……天板、6……上刃体、7……下刃体、8……凸片。





(4000円)

実用新案登録願

昭和 5 5 年 1 1 月 2 8 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 考案の名称 安全かみそり

2. 考案者

住 所 岐阜県関市千年町2丁目5番地

氏 名 アサ ノ タ モ ル
浅 野 多 茂 留

3. 実用新案登録出願人

住 所 岐阜県関市千年町2丁目5番地

(145) 株式会社 貝印刃物センター

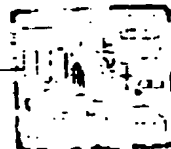
氏 名 エノ ドウ ナイ ジ ロウ
代表者 遠 藤 齊 治 朗

4. 代理人

住 所 東京都中央区日本橋室町1丁目8番地
木屋双物ビル4階

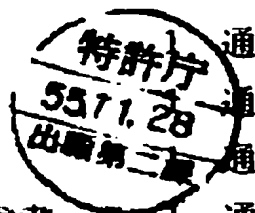
弁理士 (8415) 池 端 亨

電話 (241) 2072



5. 添附書類の目録

- (1) 明細書 1 通
- (2) 図 面 1 通
- (3) 委任状 1 通
- (4) 出願審査請求書 1 通
- (5) 副 本 1 通



55 169616

94466

明 細 書

1. 考案の名称

安全かみそり

2. 実用新案登録請求の範囲

刃台 3 と天板 4 とにより上刃体 6 と下刃体 7 を挟持し、該上刃体 6 と下刃体 7 の間にスペーサー 5 を介在させて成る安全かみそりにおいて、天板 4 の前縁から多数の凸片 8 を突出させることにより、上刃体 6 の刃縁が一定間隔おきに露出していることを特徴とするもの。

3. 考案の詳細な説明

本考案は 2 枚刃安全かみそりの改良に係るものである。

次に本考案の構成を図面に示す実施例に従って説明する。

2 枚刃安全かみそりは組立刃体 1 とホルダ 2 とから成り、組立刃体 1 は刃台 3、天板 4、スペーサー 5、

上刃体 6 および下刃体 7 とから成る。上刃体 6 と下刃体 7 は互いの面が平行になるように並べられ、下刃体 7 の刃縁が上刃体 6 の刃縁よりも前に出ている。

該上刃体 6 と下刃体 7 を刃台 3 と天板 4 とにより挟着しかつ両刃体 6、7 の間にスペーサー 5 を介在させることにより組立刃体 1 が形成される。ここで用いられる天板 4 の前縁には多数の凸片 8 が一定間隔おきに下方に向かって突出せられており、該凸片 8 の先端が下刃体 7 の上面に接触しかつ該凸片 8 が上刃体 6 の刃縁を覆うように天板 4 を上刃体 6 に被せることにより上刃体 6 の刃縁は一定間隔おきに露出する。

本考案は以上のような構成を有するので、上刃体 6 の刃縁は一定間隔おきに露出している部分と天板 4 の凸片 8 に覆われている部分とに分かれ、腿を剃る際に凸片 8 が肌にくい込むことにより、安全かみそりがふれないという効果を有する。また、通常 2 枚刃安全か

みそりは、下刃体が荒剃りをし上刃体が仕上げ剃りを
するのであるが、仕上げ用の上刃体 6 の刃縁のみを一
定間隔おきに露出させることにより、従来の 2 枚刃安
全かみそりに比べて荒剃りの効率が落ちることがない
という効果も有する。

4. 図面の簡単な説明

図面は実施例を示すものであって、第 1 図は組立刃
体の斜視図、第 2 図は安全かみそりの一部断面図であ
る。

3 . . . 刃台 4 . . . 天板 6 . . . 上刃体

7 . . . 下刃体 8 . . . 凸片

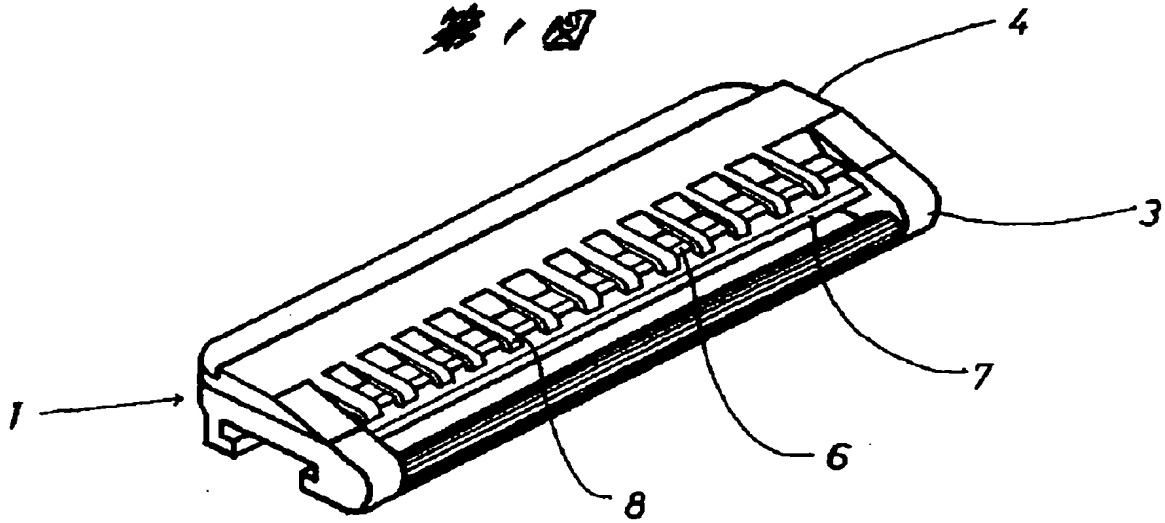
実用新案登録出願人

株式会社 貝印刃物センター

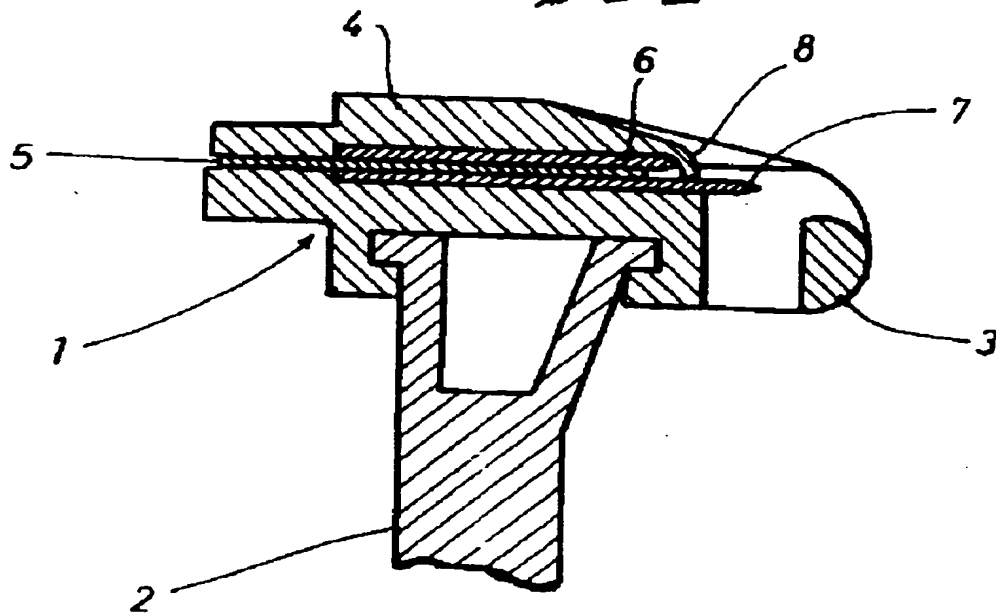
代理人弁理士

池 端 亨 一

第1図



第2図



実用新案登録出願人株式会社東洋物産
代理人分理士池田 第一